

日本気象学会2014年度春季大会 出展・協賛・後援 企業・団体等一覧

今大会の開催に当り、以下の企業・団体からご出展・ご協賛・ご後援を頂きました（2014年4月4日現在；50音順）。厚く御礼申し上げます。（*はポスター会場内に併設されるブースにて展示を行う予定の企業・団体です。）

< 出展・協賛 >

英弘精機株式会社*
H P C システムズ株式会社*
株式会社キバンインターナショナル*
クリマテック株式会社*
Cambridge University Press*
サイバネットシステム株式会社*
三興通商株式会社*
三報社印刷株式会社
J F E アドバンテック株式会社*
全日本空輸株式会社
D K S H ジャパン株式会社*
トーテックス株式会社
日本 S G I 株式会社
株式会社日本エレクトリック・インスルメント*
一般財団法人日本気象協会*
日本無線株式会社*
株式会社ニューテック*
株式会社ハイドロシステム開発*
株式会社日立ソリューションズ東日本*
古野電気株式会社*
三菱電機特機システム株式会社*

< 出展 >

独立行政法人宇宙航空研究開発機構*
独立行政法人海洋研究開発機構*

< 後援 >

横浜市

日本気象学会 2014年度春季大会

会期：2014年5月21日（水）～24日（土）

会場：横浜市開港記念会館（横浜市中区本町1-6）
 （<http://www.city.yokohama.lg.jp/naka/kaikou/>）
 横浜情報文化センター（横浜市中区日本大通11）

大会実行委員会担当機関：海洋研究開発機構，防衛大学校，横浜国立大学，気象研究所

大会実行委員長：木村富士男（海洋研究開発機構）

当日の会場への連絡先：大会実行委員会事務局（開港記念会館7号室）
 TEL 080-9642-1879（大会期間中のみ有効）
 ※大会参加者への伝言は，受付付近の掲示板に掲示します。
 取り次ぎはいたしませんのでご承知をお願いします。

会場案内図



大会行事予定

A会場	: 開港記念会館 講堂 (1F・2F)	総会・記念講演・シンポジウム:	開港記念会館 講堂(1F・2F)
B会場	: 横浜情報文化センター 情文ホール (6F)	受付	: 開港記念会館 3・4・5号室 (1F)
C会場	: 開港記念会館 1号室 (1F)	大会事務局	: 開港記念会館 7号室 (2F)
D会場	: 開港記念会館 6号室 (2F)	懇親会	: ローズホテル横浜 (横浜市中区山下町77, 会場より徒歩8分)
ポスター会場・企業展示会場・リクルートブース:	横浜情報文化センター 6F・7F		

		A会場	B会場	C会場	D会場
5月 21日 (水)	10:00～ 11:30	降水システムI (6, A101～A106)	気候システム I (6, B101～B106)	中層大気 (5, C101～C105)	環境気象 (5, D101～D105)
	11:30～ 12:30	ポスター・セッション (43, P101～P143)			
	13:30～ 17:00	専門分科会 (18, A151～A168) 「モンスーン・熱帯気象 研究の新たなブレイク スルーを目指して —村上多喜雄先生追悼 特別セッション—」	専門分科会 (14, B151～B164) 「都市における極端気 象」	中高緯度大気・相互作 用 I (9, C151～C159)	気候システム II (13, D151～D163)
5月 22日 (木)	09:30～ 11:30	気候システム III (9, A201～A209)	観測手法 (9, B201～B209)	中高緯度大気・相互作 用 II (6, C201～C206)	放射 (6, D201～D206)
	11:30～ 12:30	ポスター・セッション (44, P201～P244)			
	13:30～ 15:10	総会			
	15:20～ 17:30	学会賞・藤原賞・岸保賞受賞記念講演			
	18:15～ 20:15	懇親会			
5月 23日 (金)	09:30～ 11:30	台風 I (9, A301～A309)	物質循環 (9, B301～B309)	雲物理 (8, C301～C308)	気象教育 (6, D301～D306)
	11:30～ 12:30	ポスター・セッション (46, P301～P346)			
	13:30～ 17:00	公開シンポジウム「気象学における科学コミュニケーションの在り方」			
5月 24日 (土)	09:30～ 11:30	台風 II・熱帯大気 (9, A401～A409)	気象予報・データ同化 (8, B401～B408)	降水システム II (8, C401～C408)	大気境界層 (8, D401～D408)
	11:30～ 12:30	ポスター・セッション (46, P401～P446)			
	13:30～ 17:00	公開気象講演会 「局地風の世界」	竜巻 (14, B451～B464)	専門分科会 (11, C451～C461) 「都市における気候変 動適応研究の最先端」	大気力学 (9, D451～D459)

発表件数: 384件 (専門分科会43, 口頭発表162, ポスター179)

当大会予稿集に掲載された研究発表の文章・図表を複製あるいは翻訳して利用する場合には、日本気象学会の文書による利用許諾を得た上で出所明示して利用しなければなりません。ただし著作者自身による利用の場合は、利用許諾の申請は不要です。

本プログラムの記載内容に関する問い合わせは、〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1 気象研究所予報研究部内 講演企画委員会 (e-mail: kouenkikaku2014s@mri-jma.go.jp) まで。

講演の方法

一般口頭発表・専門分科会

- ・ 一般口頭発表の講演1件あたりの持ち時間は13分（講演10分・質疑3分）です。
- ・ 専門分科会の発表時間についてはコンピーナーからの指示に従ってください。
- ・ 講演にはPCプロジェクターを使用できます。
- ・ 講演にあたり、予め以下の点をご了承ください。
 - ✓ パソコンは各自で準備して下さい。会場にはプロジェクターおよび接続ケーブルのみを準備します。
 - ✓ セッション開始前の休憩時間などを利用して、必ず接続の確認を行っておいて下さい。また接続が不安な場合は、セッション開始前に会場係に申し出て下さい。
 - ✓ 突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で発表順の繰り下げなどの対応することがあります。携帯用メディアによるバックアップファイルの準備など、トラブルへの備えは講演者自身で行って頂くようにお願いします。

ポスター発表

- ・ 講演者はポスターに表題と著者名を明記して下さい。
- ・ ポスター発表の一人当たり使用可能面積は、縦160cm×横90cm（A0相当）となっています。
- ・ ポスターを掲示する際には画紙をお使い下さい。必要な画紙は講演者自身でご用意ください。なお、テープは使用することができません。
- ・ ポスターの掲示可能時間は、大会第1～3日目は09:00～17:30、大会第4日目は09:00～14:00です。会場の都合上、特に撤収は毎日時間厳守でお願いします。
- ・ ポスター会場での機器の使用は、講演申し込み時に予め申し出ていたもの以外は原則として認められません。
- ・ ポスター会場では電源は使用できません。

公開シンポジウム「気象学における科学コミュニケーションの在り方」

日時：大会第3日（5月23日）13:30～17:00（開場: 13:00）

会場：横浜市開港記念会館 講堂

ファシリテーター：小玉知央・茂木耕作（海洋研究開発機構）川瀬宏明（気象研究所）

趣旨：

気象学は、天気予報・防災・環境問題を扱い、一般市民の社会生活、経済活動、政策決定に至るまで、情報伝達の重要性が極めて高い学問分野です。近年、気象学の発展に伴う情報の質だけではなく、社会基盤の側で求める情報の在り方や取得の仕方も大きく変わり、改めて、科学コミュニケーションの重要性が問われています。

気象教育、情報普及の在り方も含めて、気象学を必要とする人々との対話から、お互いに求める情報伝達の在り方と研究発展へのフィードバックについて、多面的に議論する場としてこのシンポジウムを企画しました。

シンポジウムの中で参加者のみなさま自身によるコミュニケーションの実践も含めて、具体的な行動や取り組みの変化につながることを生み出して頂けたら幸いです。

討論テーマ：

- 1) 「Dr. ナダレンジャーの自然災害科学実験教室」
Dr. ナダレンジャー（防災科学技術研究所）
- 2) 「マスメディアと研究者は理解し合えるのか？」
岩谷忠幸（気象キャスターネットワーク）
- 3) 「研究者の科学的発信に客観中立はあるのか？」
江守正多（国立環境研究所）
- 4) 「Dr. ナダレンジャーの自然災害科学実験教室の展望と課題」
納口恭明（防災科学技術研究所）

※各テーマにつき、講演者の話題提供と参加者による討論の時間を30～60分ずつを目処に進行します。

※本シンポジウムは公開です。学会員以外の方のご参加も歓迎します。

総 会

日時：大会第2日（5月22日）13:30～15:10

会場：横浜市開港記念会館 講堂

議事次第

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1. 開会 | (3) 2013年度監査報告 |
| 2. 議長選出 | (4) 第38期理事の選任について |
| 3. 理事長挨拶 | (5) 名誉会員の推薦について |
| 4. 2014年度日本気象学会賞授与 | 9. 報告 |
| 5. 2014年度藤原賞授与 | (1) 2014年度事業計画 |
| 6. 2014年度岸保賞授与 | (2) 2014年度収支予算 |
| 7. 2013年気象集誌論文賞及びSOLA論文賞授与報告 | (3) その他 |
| 8. 議事 | 10. 議長解任 |
| (1) 2013年度事業報告 | 11. 閉会 |
| (2) 2013年度収支決算報告 | |

専門分科会の概要紹介

2014年度春季大会では下記の通り、3件の専門分科会が開かれます。

モンスーン・熱帯気象研究の新たなブレイクスルーを目指して —村上多喜雄先生追悼特別セッション—

日時：大会第1日（5月21日）13:30～17:00

場所：A会場

趣旨：ハワイ大学名誉教授の村上多喜雄先生が2013年7月16日に急逝されました。村上先生は世界的に著名なモンスーン・熱帯気象研究者で、数多くの論文や著作を通じてモンスーン・熱帯気象学の発展へ多大な貢献をされたと同時に、日本の熱帯気象学の国際的地位の向上にも尽力されました。また、多くの日本の若手研究者をハワイ大学に積極的に受け入れ、共同研究を通してその育成にも尽力されました。本分科会では、観測研究から、データ解析、数値シミュレーションに至る様々な手法に基づいた、モンスーンや熱帯気象関連研究を話題提供して頂くことで、先生が関わられた分野の新たな研究のパラダイムの構築の一助にしたいと考えております。

コンピーナー：川村隆一（九州大学）、松本 淳（首都大学東京）、中澤哲夫（世界気象機関）、住 明正（国立環境研究所）

都市における極端気象

日時：大会第1日（5月21日）13:30～17:00

場所：B会場

趣旨：高度に発達した交通網や通信網を有し、数百万以上の人々が生活する大都市には、台風、集中豪雨、落雷、突風などの激しい気象擾乱に対する脆弱性が内在しています。今後の気候変動に伴って懸念される局地的な豪雨の多発化や巨大台風の発生は都市型災害の被害を甚大化する可能性が高く、局地的大雨・強風などの極端気象の監視・予測技術の確立は急務です。当専門分科会では都市における極端気象に関し、以下の3つの主題につ

いて議論を行います：

1. 極端気象のメカニズム解明、
 - a. 新たな観測技術の開発
 - b. メカニズム解明
 - c. 統計解析
2. 極端気象の監視・予測システムの開発、
 - a. 発生予測手法の開発
 - b. 監視・予測システムの開発と運用
 - c. データベース構築
3. 極端気象に強い都市創り社会実験
 - a. 救助活動
 - b. 危機管理
 - c. 社会基盤
 - d. 生活・教育

コンピーナー：小司禎教（気象研究所）、三隅良平（防災科学技術研究所）

都市における気候変動適応研究の最先端

日時：大会第4日（5月24日）13:30～17:00

場所：C会場

趣旨：文部科学省・気候変動適応研究推進プログラム（通称 RECCA）の都市研究領域では現在、集中豪雨、異常高温、ヒートアイランド等、気候変動による都市圏への影響およびその適応策や、低炭素社会の実現に向けた研究を実施している。本専門分科会では、RECCAにおける成果を中心に、都市圏の気候変動適応策策定に資する高解像度気象・気候モデルに関連した気象・気候学的課題の集中的な議論を行い、この課題に関する理解を深めたい。特に、1) 都市圏を対象にした気象・気候モデルの高度化、2) ビルスケールモデルへのダウンスケーリングやパラメタリゼーション、3) 都市圏の土地被覆・土地利用変化、4) いろいろな構造物・街路樹を含む適応策評価等のモデル化、5) これらのモデル化に必要な

情報に関するデータベースの整備、6) 都市域におけるデータ同化とそれに使用する観測データ等に対する新しい考え方とその評価手法等について、RECCA 課題における研究成果を紹介する。

コンピーナー：大楽浩司（防災科学技術研究所）、高橋桂子（海洋研究開発機構）、飯塚 悟（名古屋大学）、中島映至（東京大学）、近藤裕昭（産業技術総合研究所）

公開気象講演会のお知らせ

参加は無料です。

日時：2014年5月24日（土）（大会第4日）13:30～17:00

場所：横浜市開港記念会館 講堂（大会A会場）

テーマ：「局地風の世界」

主催：公益社団法人 日本気象学会教育と普及委員会

趣旨：日本気象学会2014年度春季大会の開催に合わせて、一般市民の方々に気象に関する最近の研究成果や関心の深い事柄について、わかりやすく解説することを目的とした公開気象講演会を開催します。今回は「局地風」をテーマに取り上げます。

局地風とは、地形などの影響により特定の地域に吹く風のことです。農業や漁業など、生活と密着するため、その地域特有の名前で呼ばれる風が日本各地に存在します。なかでも、清川だし（山形県）、広戸風（岡山県）、やまじ風（愛媛県）は、日本の三大悪風と呼ばれています。発生や強風のメカニズムは、古くからよく調べられていますが、まだまだ多くの謎が残っております。今回の講演会では、三大悪風や局地風の謎に迫る研究者に、これまでの研究成果や現在の取り組みについてご紹介して頂くことにしました。ふるってご参加下さるようお願い

いたします。

テーマおよび講演者：

1. 「局地風の世界」
木村富士男（海洋研究開発機構）
2. 「「広戸風」の正体」
筆保弘徳（横浜国立大学）
3. 「「やまじ風」の正体」
斉藤和雄（気象研究所）
4. 「「清川だし」の正体」
佐々木華織（農業・食品産業技術総合研究機構）
5. 「新局地風発見」北岩手波状雲」と「肱川あらし」
名越利幸（岩手大学）
6. 「局地風研究の最前線」比良下ろし」
東邦昭（京都大学）

問い合わせ先：筆保弘徳（横浜国立大学）

TEL: 045-339-3346

E-mail: fude@ynu.ac.jp

研究会のお知らせ

何れも参加は無料・事前の申込も不要ですので、興味のある方はご自由にご参加下さい。

第41回メソ気象研究会

日時：2014年5月20日（火）（大会前日）13:30～17:00

場所：気象庁講堂（東京都千代田区大手町1-3-4）

テーマ：「台風 ～発生・発達と日本への影響～」

コンピーナー：北島尚子（気象研究所）

内容：台風は過去には日本において最も大きな気象災害を引き起こす原因の1つでした。近年、進路予報が改善されることにより、防災対策が事前に可能となる事例も多くなりましたが、台風に伴う暴風や大雨は依然として大きな災害の原因となっています。2013年台風第18号に関連した近畿地方等の大雨による広域にわたる水害や、台風第26号に関連した伊豆大島の豪雨による大規模土砂災害は、日本の台風災害として記憶に新しいところです。またフィリピンに襲った台風第30号による災害は、様々な形で日本社会に影響を与えています。今回、2013年の台風活動及び自然災害の実態を理解する上で、熱帯海域における台風発生環境の特徴から、発達メカニズム、中緯度での構造変化とそれに関連して日本付近で発現するメソ気象現象について話題

提供していただきます。多くの方々のご参加と活発な議論をお願いいたします。

プログラム：

- 13:30-13:35 趣旨説明
- 13:35-14:05 台風発生・発達に関わる環境場の観測
城岡竜一（海洋研究開発機構）
- 14:05-14:35 数値シミュレーションによる台風発達の研究
和田章義（気象研究所）
- 14:35-15:05 日本付近の台風の構造変化
北島尚子（気象研究所）

休憩

15:20-15:40 日本付近の台風に伴うメソ気象現象

- (1) 台風に伴う竜巻
末木健太（東京大学大気海洋研究所）

15:40-16:10 日本付近の台風に伴うメソ気象現象

- (2) 台風に伴う豪雨 —2013年台風第26号に伴う伊豆大島の大雨—
津口裕茂（気象研究所）

16:10-16:30 日本付近の台風に伴うメソ気象現象

(3) 台風に伴うpressure dip
筆保弘徳 (横浜国立大学)

16:30-17:00 総合討論

世話人: 坪木和久 (名大地球水循環), 加藤輝之 (気象研究所), 小倉義光 (東大気海洋研)

連絡先: 北島尚子 (気象研究所)

E-mail: nkitab@MRI-JMA.go.jp

注意事項: 自家用車での来庁はご遠慮下さい。正面玄関 (KKR東京側) をご利用ください。研究会の受付で入庁許可書を受け取り、着用して下さい。

極域・寒冷域研究連絡会

日時: 2014年5月21日 (水) (大会第1日)

セッション終了後~2時間程度

場所: 開港記念会館 1号室 (大会C会場)

テーマ: 降雪量の真値とは?

趣旨: 気象の基本要素のうち気温, 気圧, 風は気象の記述や天気予報にとっても十分な精度で観測できるようになりましたが, 降雪量の観測は依然として困難です。たとえば筒型のRaingauge方式の測器では風による降雪粒子捕捉率の低下や蒸発ロスから逃れることができません。風速が5m/sを超えただけで真値の50%程度までしか捉えられません。身近な現象である降雪の観測がこれほどまでに難しいことは一般にだけでなく気象に携わる人々の間でもよく知られているとは言えません。私たちの持っている, そしてこれからアーカイブしていこうとする降雪量データはどのような精度なのでしょう。今ある気候値をどの程度修正する必要があるのでしょうか。極域をはじめとした, より寒冷な地域では, 降雪強度が弱く, イベント全体の降雪量も少ない傾向にあるため, これらの問題はより深刻に影響すると考えられます。

WMOは約20年ぶりに第2回目の固体降水比較観測計画 (SPICE: Solid Precipitation Intercomparison Experiment) をアレンジしました。日本では気象庁, 防災科学技術研究所, 国立極地研究所が2つの観測サイトを運用し参加しています。今回はSPICEサイトで観測している2名の方に, 降雪量の観測の問題点とそれを改善するためにどのようなアイデアがあるのかについて語っていただきます。また, 普段の研究においても降雪量や降雪粒子を扱っている方々からの当日の話題提供もいただきたいと考えています。どうぞ奮ってご参加ください。

- 1 「新潟県長岡市と北海道陸別町における降雪量の測器間比較」
平沢尚彦 (極地研究所)
- 2 「降雪粒子特性を考慮した降雪計測」
中井専人 (防災科学技術研究所)

※当日の話題提供を追加

問い合わせ先: 平沢尚彦 (国立極地研究所)

TEL: 042-512-0685

E-mail: hira.n@nipr.ac.jp

オゾン研究連絡会

日時: 2014年5月23日 (金) (大会第3日)

セッション終了後~2時間程度

場所: 開港記念会館 1号室 (大会C会場)

テーマ:

- 1 「北半球各地観測されたHClの再増加」
村田 功 (東北大院環境科学)
- 2 「今後の研究会のあり方について」

内容: 今回はまず最近地上観測や衛星観測で見られている成層圏 HCl の再増加についての話題提供です。フロン規制に伴い, 2000 年代に入って HCl は減少し始めていましたが, 北半球では 2007 年頃から再び増加しているという観測結果が出てきています。この原因として, どうやら循環の変化が影響しているらしいということは分かってきたのですが, あまり詳しいことはまだ分かっていません。現在までに分かった情報を提供し, 議論したいと思います。また, 現幹事の体制となつてからずいぶん時間が経ちました。今後この研究会をどうするのが良いかについてみなさんのご意見を聞き, 議論したいと思います。

世話人: 笠井康子 (NICT), 川上修司 (JAXA), 河本 望 (RESTEC), 永島達也 (環境研), 高島久洋 (福岡大学/JAMSTEC), 村田 功 (東北大院環境科学)

連絡先: 村田 功 (東北大院環境科学)

E-mail: murata@pat.pat.tohoku.ac.jp

気象教育懇談会

日時: 2014年5月23日 (金) (大会第3日)

セッション終了後~2時間程度

場所: 開港記念会館 6号室 (大会D会場)

テーマ: 「日本気象学会ジュニアセッション開設と学校教育」

趣旨: 日本気象学会大会時に通常のポスターセッションではなく, 中・高校生を主体としたポスターセッションの開催を検討しております。このようなセッションを通じて気象分野に関心を持つ若い層の拡大とレベルアップを意図しています。学校教育における気象分野の検討をもとにジュニアセッションの方向性を探っていきたいと考えています。詳細は「教育と普及委員会」のホームページ (<http://www.metsoc.or.jp/kyoikuhukyu/index.html>) でお知らせします。

代表者: 「教育と普及委員会」 畠山正恒

E-mail: hatakeya@hotmail.com

大会期間中の保育支援について

大会実行委員会では, 保育施設の斡旋ならびに施設利用料の一部補助を行います。保育施設としては, 次の横浜市

認可保育所を紹介予定です。

「ラフ・クルー元町保育園」

<http://www.laugh-crew.net/nursery/motomachi/outline.html>

横浜市中区石川町 2-64 プラザセレス石川 2F

利用料金 (8:00-19:00) : 3 歳児未満 2,400 円/日, 3 歳児
以上 1,300 円/日, 給食 (離乳食含) 350 円/回, おや
つ (離乳食含) 150 円/回, 補食 150 円/回

利用を希望される方は, 4 月 17 日 (木) までに下記担
当までご連絡下さい。

期日を過ぎた場合や, 人数の都合によっては他の保育施
設をご紹介させて頂く場合もございます。なお, 利用料の
一部補助につきましては, 上記以外の保育施設を利用され
る方も, この対象になります。希望される方は下記担当ま
でご連絡ください。

連絡先: 服部 美紀 (海洋研究開発機構)

E-mail: msj2014req@jamstec.go.jp

TEL: 046-867-9254

リクルートブースの設置について

日本気象学会は, 若手・任期付研究者のキャリア形成
をサポートするために, 大会会場にてリクルートブース
を設置します。これは, 気象学会に所属する大学院生や
有期雇用の若手研究者が, 広く民間企業にて適職に出会
うのをサポートするために, 申し出のあった企業の就職
担当者に会場に来て頂き, 就職を希望する参加者と直接
情報交換する場を提供する取り組みです。ブース訪問希
望者の参加予約等の手続は不要です。

ブースはポスター会場に併設する予定で, 原則として
毎日コアタイム (ポスター発表時間・昼休み) にのみ,
企業側担当者が対応します。また, 展示を行なう企業の
うち予め届出のあった企業についても, 展示ブース (ポ
スター会場に併設) にリクルートブースが併設されます。
この場合, コアタイム以外の対応も可能です。

リクルートブースに出展予定の企業は以下の通りです
(2014 年 4 月 4 日現在)。

<大会 1~4 日目>

株式会社日本エレクトリック・インスルメント

<大会 1 日目・2 日目>

英弘精機株式会社

株式会社キバンインターナショナル

JFEアドバンテック株式会社

一般財団法人日本気象協会

<大会 3 日目・4 日目>

株式会社日立ソリューションズ東日本

秋季大会の予告

2014年度秋季大会は, 2014年10月21日 (火) ~23日 (木) に福岡国際会議場で開催される予定です。

大会第 1 日 [5 月 21 日(水)] 10:00~11:30 一般口頭発表**A 会場****降水システム I**

座長 : 鶴沼 昂 (京大防災研)

- A101 津口 裕茂 (気象研) 2013 年 8 月 9 日の秋田・岩手県の大雨の発生要因について
- A102 加藤 輝之 (気象研) 台風 1326 号にともなう伊豆大島の大雨の発生要因
- A103 川野 哲也 (九大院理) 2013 年 3 月 2 日道東地方に暴風雪被害をもたらした爆弾低気圧の数値シミュレーション
- A104 鶴沼 昂 (京大防災研) 日本の暖候期における停滞性降水システム発生前の環境条件
- A105 山田 広幸 (琉球大理) 2010 年奄美豪雨の期間中に北へ伝播する降水システム
- A106 吉田 翔 (気象工学) 3次元解析手法を用いた局地的大雨早期探知手法の検討

大会第1日 [5月21日(水)] 10:00~11:30 一般口頭発表**B 会場****気候システム I**

座長 : 西井 和晃 (東大先端研)

- B101 釜堀 弘隆 (気象研) 再解析に表現される熱帯低気圧の降水量場構造
- B102 尾瀬 智昭 (気象研) 赤道太平洋海面水温変動の中高緯度大気への影響頻度 (2)
- B103 西井 和晃 (東大先端研) 気候モデル中での夏季南半球亜寒帯ジェットと海面水温前線帯
- B104 田中 翔 (東大先端研) 冬季北太平洋上テレコネクションパターンの維持過程における傾圧エネルギー変換の重要性
- B105 塀和 優一 (岡山大院) 秋から冬にかけてのストームトラックと関連したシベリア高気圧の日々の発達と季節進行
- B106 星 一平 (新潟大理) 北半球高緯度の海水域変動による大気循環場への影響

大会第 1 日 [5 月 21 日(水)] 10:00~11:30 一般口頭発表**C 会場****中層大気**

座長 : 鈴木 睦 (宇宙研)

- C101 大羽田 剛史 (九大院理) 成層圏突然昇温により引き起こされる半年周期振動の年々変動
- C102 宮原 三郎 (九大理) 成層圏突然昇温に伴う下部熱圏全球平均温度変動
- C103 塩谷 雅人 (京大生存研) SMILES による中層大気科学の新展開 - その成果概要 -
- C104 鈴木 睦 (宇宙研) JEM/SMILES からの VLSL Bry の推定(その 2)
- C105 木下 武也 (NICT) El Niño 期, La Niña 期に見られる熱帯域と中高緯度におけるプラネタリー波活動の 3 次元構造に関する研究

大会第 1 日 [5 月 21 日(水)] 10:00~11:30 一般口頭発表**D 会場****環境気象**

座長 : 稲津 将 (北大院理)

- D101 稲津 将 (北大院理) 札幌におけるシラカバ花粉の日飛散量重回帰予測
- D102 板橋 秀一 (電中研) ポテンシャルオゾンに適用した発生源寄与評価手法の相互比較
- D103 王 敏叡 (名大院環境) 暖候期から寒候期へ移行する時期におけるウランパートルの大気境界層の構造と大気汚染に関する研究
- D104 茂木 信宏 (東大院理) レーザー誘起白熱・光散乱法によるブラックカーボン含有粒子の形態分析法
- D105 朽木 勝幸 (気象研) 札幌における 2007-2013 年の 6 冬期間の積雪不純物濃度

大会第1日〔5月21日(水)〕 13:30～17:00 専門分科会

A 会場

「モンスーン・熱帯気象研究の新たなブレイクスルーを目指して —村上多喜雄先生追悼特別セッション—」

座長：松本 淳（首都大）

- A151 中澤 哲夫 (WMO) The TIGGE database predicted extreme warm/cold events in NH in Jan. 2014
- A152 藤波 初木 (名大地球水循環) 夏季南アジアの多雨地域に卓越する準二週間周期変動
- A153 佐藤 尚毅 (学芸大) 大気海洋結合のある浅水方程式系において導出された遅い東進モードと MJO
- A154 安永 数明 (富山大学) MJO における風の回転成分による水蒸気輸送の効果
- A155 小寺 邦彦 (名大 STE 研) 熱帯成層圏—対流圏結合における対流雲貫入の役割：成層圏突然昇温時の事例
- A156 江口 菜穂 (九大応力研) モンスーンと上部対流圏・下部成層圏の科学

休憩

座長：中澤 哲夫 (WMO)

- A157 松村 伸治 (北大院地球環境) 近年の梅雨活発化に伴った太平洋高気圧の強化
- A158 福富 慶樹 (JAMSTEC) インド洋域における季節内熱帯中緯度相互作用と多重スケール構造の研究の現状と展望
- A159 尾形 友道 (筑波大院生命環境) 海洋の視点から見たインド・アジアモンスーン
- A160 岩崎 慎介 (愛媛大 沿岸センター) 冬季黄海・東シナ海の沿岸域での大気海洋相互作用による負のフィードバック
- A161 安藤 雄太 (三重大院生物資源) 大気循環と日本周辺の海面水温が日本の気候に与える影響
- A162 菅野 湧貴 (東北大院理) 特定温位面以下の寒気質量とその生成・流出・消滅

休憩

座長：川村 隆一 (九大)

- A163 芳村 圭 (AORI) 色水解析と水同位体比からみたアジアモンスーン
- A164 井上 知栄 (JAMSTEC) 夏季西部北太平洋モンスーン季節進行の気候モデル再現性
- A165 梶川 義幸 (理研計算科学) NICAM で再現された 2012 年のインドモンスーンオンセット
- A166 釜江 陽一 (環境研) 海陸の温度コントラストと夏季モンスーンの変動 ～過去から将来にかけて～
- A167 遠藤 洋和 (気象研) 温暖化気候下における地域モンスーン降水の変化 ～熱力学的効果と力学的効果～
- A168 二宮 洸三 (無所属) アジアモンスーン域の降水系気候学の提案

大会第1日〔5月21日(水)〕 13:30～17:00 専門分科会

B 会場

「都市における極端気象」

趣旨説明

座長：小司 禎教（気象研）

- B151 石原 正仁（極端気象適応社会教育ユニット） TOMACS 期間中の首都圏に発生した積乱雲の分類
- B152 清野 直子（気象研） 首都圏における対流性降水環境場の観測と数値実験
- B153 南雲 信宏（気象研） NHM を用いた夏季関東平野の積乱雲のシミュレーションとその検証
- B154 瀬戸 芳一（都環研／首都大院） 東京都区部で発生した短時間強雨時の降水量分布と地上風系・可降水量との関係
- B155 小林 文明（防大地球） 地上稠密観測 POTEKA による竜巻・ダウンバーストの観測
- B156 高橋 日出男（首都大都市環境） 稠密な地上風監視に基づく東京都区部の短時間強雨予測可能性の検討
- B157 平野 洪賓（NIED） VIL を用いた豪雨直前予測 -10 分先雨量ノウキャスト-
- B158 Shakti P. C. (NIED) Nowcasting of Rainfall over the Kanto Region, Japan using Short Term Ensemble Prediction System (STEP)

休憩

座長：三隅 良平（防災研）

- B159 中谷 剛（防災科研） 極端気象情報の住民への提供に関する検討
- B160 吉井 護（東京消防庁） 東京消防庁における MP レーダーの活用
- B161 大西 晴夫（防災科研） 日本気象予報士会の協力で行ったノウキャスト社会実験について
- B162 関谷 直也（東大総合防災情報） デジタルサイネージを活用した X バンド MP レーダー降雨情報の伝達に関する社会実験の評価と改善
- B163 道本 光一郎（ウェザー・サービス） 気象情報の提供方法等に関する一考察
- B164 廣井 慧（慶應大院／東京都環境科学研） 短時間強雨に対する高校生の防災教育システムの開発とその活用

総合討論

まとめ

大会第1日〔5月21日(水)〕 13:30~17:00 一般口頭発表

C 会場

中高緯度大気・相互作用 I

座長：堀 正岳 (JAMSTEC)

- C151 鷹野 敏明 (千葉大工院) 北極ニーオルスン基地での雲レーダ初期観測結果
- C152 田中 博 (筑波大計算科学) AOI 方程式を用いた北極振動のクロススペクトル解析
- C153 相澤 拓郎 (筑波大院生命環境) Cyclone Phase Space を用いた北極低気圧のライフサイクルの解析
- C154 猪上 淳 (極地研) 北極海の定点観測で得られた大気-海洋-生態系の時系列データ
- C155 佐藤 和敏 (総研大複合科学) CFSR 再解析データにおける海氷上積雪深の再現性について
- C156 堀 正岳 (JAMSTEC) 「みらい」北極航海 MR13-06 において観測された海面水温と AMSR2 衛星によって推定された海面水温との比較
- C157 篠田 太郎 (名大地球水循環) 雲解像モデル CReSS を用いた北極海低気圧の再現実験
- C158 三井 拓 (長大院水産環境) バレンツ海のポーラーロウの WRF による実験
- C159 山崎 哲 (地球シミュレータセンター) 北極域ゾンデ観測の北極低気圧予測へのインパクト：2012年8月の事例

大会第1日〔5月21日(水)〕 13:30～17:00 一般口頭発表

D 会場

気候システムII

座長：村田 昭彦（気象研）

- D151 松本 直也（三重大院生物資源）三重県北部における降雪と風の関係性について
- D152 松本 健吾（岡山大教育）東日本における梅雨～盛夏期の大雨日に関する気候学的解析
- D153 藤部 文昭（気象研）東京都における熱中症死者多発日の気温特性
- D154 阿如漢（名大院環境）ゴビ砂漠における植生被覆とダスト発生頻度・気象要素の関係
- D155 玉置 雄大（北大理）夏季北海道におけるサンプリングダウンスケーリング
- D156 村田 昭彦（気象研）格子間隔 5km の改良版地域気候モデルによる現在気候の再現性
- D157 牛山 朋来（土研 ICHARM）フィリピン・パンパンガ川流域を対象とした力学的ダウンスケーリング
- D158 小畑 淳（気象研）巨大火山噴火による環境変動ーモンスーン前の噴火か否かー
- D159 杉 正人（気象研）寒冷化すると台風は増えるか？
- D160 横山 千恵（東大大気海洋研）梅雨期の降雨変化に関する研究：JRA55 再解析データによる長期変化と CMIP5 マルチ気候モデルデータによる将来変化
- D161 立入 郁（JAMSTEC/RIGC）MIROC-ESM についての 2°C/3°C 安定化シナリオとしての RCP2.6/4.5 シナリオの延長
- D162 筒井 純一（電中研）気候安定化目標の検討における将来の気温変化の確率論的評価
- D163 瀬口 貴文（防衛大地球海洋）空気潤滑法で生成される泡によるジオエンジニアリングの効果

大会第2日 [5月22日(木)] 9:30~11:30 一般口頭発表

A 会場

気候システムⅢ

座長：川合 秀明（気象研）

- A201 内山 常雄 (気象予報士会) 2013年と2012年の年平均気温偏差とその季節変動
- A202 今田 由紀子 (東大気海洋研) 平成25年夏季の日本の猛暑に対する地球温暖化の寄与(Event Attribution)
- A203 谷貝 勇 (元気象大) 地球温暖化が影響する日本の冷夏と暑夏について(その6) —竜巻に影響する角運動量輸送と成層不安定の増大—
- A204 神代 剛 (気象研) 衛星観測シミュレータ COSP を用いた MRI-CGCM3 雲分布の再現性評価
- A205 川合 秀明 (気象研) 中緯度の海洋下層雲の鉛直構造 —日変化—
- A206 新藤 永樹 (気象研) 気象研究所全球気候モデルの熱帯海洋上の比湿プロファイルのバイアスについて
- A207 楠 昌司 (気象研) 全球大気モデル MRI-AGCM3.2 の降水量再現性
- A208 小倉 知夫 (環境研) MIROC5 放射バイアスのパラメータ依存性
- A209 塩竈 秀夫 (国環研) マルチパラメータ・マルチ物理アンサンブル：気候感度の不確実性を調べる新アプローチ

大会第2日〔5月22日(木)〕 9:30~11:30 一般口頭発表

B 会場

観測手法

座長：佐藤 晋介 (NICT)

- B201 山本 哲 (気象研) 世界各国における地上気象観測環境基準の現状
- B202 川村 誠治 (NICT) パッシブレーダの研究開発—地上デジタル放送波を用いた水蒸気観測—
- B203 佐藤 晋介 (NICT) フェーズドアレイ気象レーダー・ドップラーライダー融合システム(PANDA)の開発
- B204 民田 晴也 (名大地球水循環) 低コストレーザラインスキャナによる降雪粒子形状計測
- B205 西川 将典 (北大低温研) 蔵王における2台のKa帯レーダを用いた融解層の対向観測実験
- B206 古澤 文江 (名大地球水循環) 2台のKa帯レーダによる降水強度の推定
- B207 青梨 和正 (気象研) 次世代のマイクロ波イメージャ降水リトリーブアルゴリズム開発 (その2)
- B208 足立 アホロ (気象研) レーダーシミュレーターによる偏波パラメータ計算結果のレーダー観測への応用 (その5) C-band 二重偏波レーダーによる降雨減衰の補正と降水強度の推定
- B209 上米良 秀行 (土研) ジャワ島中東部ソロ川流域における衛星雨量プロダクト GSMaP の性能調査 (第2報)

大会第2日 [5月22日(木)] 9:30~11:30 一般口頭発表**C 会場****中高緯度大気・相互作用Ⅱ**

座長：山本 勝（九大応力研）

- C201 町村 輔（東大先端研） JRA55 再解析データに基づく PJ パターンの解析
- C202 小川 晨一（東大先端研） MIROC5 気候モデルによる PJ パターンの再現性と将来変化
- C203 山本 勝（九大応力研） 日本海が低気圧と北西太平洋に与える影響：急発達する低気圧の事例について
- C204 見延 庄士郎（北大院理） 夏季メキシコ湾流上での非断熱加熱に対する大気応答
- C205 森岡 優志（JAMSTEC/RIGC） 南インド洋の海面水温がマスカリン高気圧の変動に及ぼす影響
- C206 平沢 尚彦（極地研） 2012/13 年夏に起こった南極氷床表面の融解現象

大会第2日 [5月22日(木)] 9:30~11:30 一般口頭発表

D 会場

放射

座長 : 岡本 創 (九大応力研)

- D201 大方 めぐみ (気候システム研究系) 三次元離散雲の放射収支算定に関わる放射伝達解法の研究 (3)
- D202 石元 裕史 (気象研) 赤外サウンダ AIRS データの 1DVAR リトリバルから推定した北極域対流圏中上層の水蒸気場と CloudSat/CALIPSO 解析による雲情報との関係
- D203 岡本 創 (九大応力研) CloudSat-CALIPSO-AIRS 衛星の複合利用による過飽和度と氷雲微物理特性の解析
- D204 関口 美保 (海洋大学・院) 衛星から見た雲エアロゾル相互作用の地域特性と季節変動
- D205 竹中 栄晶 (AORI) 静止気象衛星「ひまわり」観測データに基づく日射量の推定と太陽光発電出力の準リアルタイム・モニタリング
- D206 大竹 秀明 (産総研) 電力系統運用のための日射量予測値の応用解析

大会第3日 [5月23日(金)] 9:30~11:30 一般口頭発表

A 会場

台風 I

座長 : 中野 満寿男 (JAMSTEC/RIGC)

- A301 佐藤 正樹 (東大 AORI) 地球温暖化に伴う熱帯低気圧の発生数の変化について
- A302 中野 満寿男 (JAMSTEC/RIGC) 夏季の北西太平洋域における台風発生予測可能性と季節内変動
- A303 柳瀬 亘 (東大大気海洋研) 熱帯・亜熱帯・温帯の環境場における低気圧の理想化実験 その2
- A304 中田 晃志 (三重大生物資源) 台風の遠隔強制から紐解く 2011 年台風 12 号が日本に上陸した理由
- A305 北島 尚子 (気象研) 台風 1318 号の発達とそれに伴う近畿地方の大雨の発生要因
- A306 金田 幸恵 (名大地球水循環) 水平解像度 2km の非静力学モデルを用いた狩野川台風(TY195822: IDA)の再現実験
- A307 青梨 和正 (気象研) 台風進路予報のための領域非静力データ同化システムの開発 (その 1) -雲解像モデル用の Neighboring Ensemble に基づく変分法同化法-
- A308 山岬 正紀 (気象研) 熱帯低気圧モデルにおける乱流のパラメタリゼーションの効果
- A309 竹見 哲也 (京大防災研) 2013 年台風 30 号の最大強度 895 hPa の再現シミュレーション

大会第3日 [5月23日(金)] 9:30~11:30 一般口頭発表

B 会場

物質循環

座長 : 松井 仁志 (JAMSTEC/RIGC)

- B301 青木 輝夫 (気象研) グリーンランド氷床上における光吸収性積雪不純物の積雪表面濃縮過程
- B302 及川 栄治 (東大大気海洋研) クラスタリングを用いた AERONET データのエアロゾルタイプ分類その2
- B303 松井 仁志 (JAMSTEC/RIGC) アジア域の有機エアロゾル生成の人為・自然起源相互作用 : VBS モデルの開発と検証
- B304 河合 慶 (名大院環境) モンゴル国ダランザドガドにおけるアジアダストのシーロメーター観測 : 2013年5月のダストイベントの事例解析
- B305 渡邊 明 (福島大・理工) 放射能ゾンデ観測
- B306 鶴田 治雄 (東大大気海洋研) 福島およびその周辺4地点における大気エアロゾル中の Cs-137 濃度の3年間の長期変化
- B307 内野 修 (環境研) GOSAT SWIR から導出されたエアロゾル光学特性と地上観測との比較
- B308 井上 誠 (環境研) GOSAT プロダクトの検証と地上 FTS の検定を目的とした航空機観測
- B309 長澤 親生 (首都大システムデザイン) 車載型 1.6 μ mCO₂-DIAL による低高度からの CO₂ 濃度移動観測

大会第3日 [5月23日(金)] 9:30~11:30 一般口頭発表

C 会場

雲物理

座長：田尻 拓也（気象研）

- C301 田尻 拓也（気象研） 広範なエアロゾル種の雲核・氷晶核能に関する研究（その5）
- C302 小池 克征（いであ） 多摩川上流域における地上リモートセンシングデータを用いたシーディング有効雲の統計解析
- C303 久芳 奈遠美（東大大気海洋研） 衛星観測データの雲物理学の解析（2）—ハイブリッド雲微物理モデルによるCFODDの解析—
- C304 本吉 弘岐（防災科研雪氷） 自動記録式電子天秤を用いた降雪粒子の質量・粒径・落下速度の同時測定
- C305 佐藤 陽祐（理研計算科学） 境界層雲の数値実験に雲微物理スキームが及ぼす影響評価
- C306 真木 太一（九大名誉教授） 三宅島・御蔵島付近での2013年3月14日と12月15日の液体炭酸散布による人工降雨実験
- C307 岩崎 博之（群馬大教育） 落雷エネルギーに注目した日本周辺の雷活動の気候学的研究
- C308 道本 光一郎（ウェザー・サービス） 航空機の被雷防止法（より具体的な提案）について

大会第3日〔5月23日(金)〕 9:30~11:30 一般口頭発表

D 会場

気象教育

座長：山本 哲（気象研）

- D301 山本 哲（気象研） 「藤原の効果」の語の起こりについての推論
- D302 草薙 浩（京都ウェザー） 気温図と四季気温マップ（III）－東西4000kmの広大なアメリカ合衆国の地形と四季気温マップ－
- D303 草薙 浩（京都ウェザー） 季節進行指標と植生：平年の桜開花日
- D304 三戸口 誉之（神戸大附属中等） 兵庫県神戸市における海陸風の統計的解析
- D305 加藤 内蔵進（岡大・教育・理科） 大陸移動と日本の気候環境に関する教育学部での学際的授業の試み（多彩な季節感を育む季節サイクルに注目して）
- D306 加藤 内蔵進（岡大・教育・理科） 冬を挟む季節進行の非対称性と季節感を切り口とする日本の気候環境に関する学際的授業の開発（高校での試行）

大会第4日〔5月24日(土)〕 9:30～11:30 一般口頭発表

A 会場

台風Ⅱ・熱帯大気

座長：坪木 和久（名大地球水循環）

- A401 坪木 和久（名大地球水循環） 雲粒子ゾンデを用いた台風FRANCISCO(2013)の上部吹き出し層の巻雲の観測
- A402 辻野 智紀（名大地球水循環） 理想化した熱帯低気圧における多重壁雲の構造と壁雲の置き換えりの関係
- A403 和田 章義（気象研） 台風1330号(Haiyan)における大気海洋環境場の役割
- A404 加藤 雅也（名大地球水循環） CReSS-NHOES を用いた日々のシミュレーションで再現された台風
- A405 篠田 太郎（名大地球水循環） 非静力学大気海洋結合モデル CReSS-NHOES を用いた台風の発達に影響を及ぼす環境因子の評価
- A406 大内 和良（JAMSTEC） マッデンジュリアン振動の発生を促進するサイクロンの活動～全球雲解像モデル NICAM の予測計算からの示唆～
- A407 伍 培明（JAMSTEC/RIGC） インドシナ東海岸に持続的豪雨をもたらした熱帯擾乱の発達・維持にMJOの影響
- A408 金丸 佳矢（名大院環境） 熱帯季節内振動に伴う海面暖水偏差形成における海上風背景場の役割
- A409 林 未知也（東大院理） 鉛直構造に依存した熱帯不安定擾乱の特性の固有値問題による再考

大会第4日 [5月24日(土)] 9:30~11:30 一般口頭発表

B 会場

気象予報・データ同化

座長 : 大塚 道子 (気象研)

- B401 松枝 未遠 (University of Oxford) Predictability of wintertime Euro-Atlantic weather regimes in medium-range forecasts
- B402 山口 宗彦 (気象研) 観測データを用いたアンサンブルスプレッドとアンサンブル平均予報誤差の関係の診断
- B403 石橋 俊之 (気象研) 随伴演算子による観測データのインパクト評価とその応用 (続報)
- B404 大塚 道子 (気象研) 高頻度衛星観測による大気追跡風 (AMV) の同化実験
- B405 国井 勝 (気象研) アンサンブルカルマンフィルタを用いた台風的位置, 中心気圧の同化実験
- B406 伊藤 耕介 (琉球大理) Hybrid EnKF-4DVar データ同化法の JNoVA への実装
- B407 折口 征二 (気象研) NHM-EnVar システムの開発
- B408 露木 義 (気象研) 決定論的予測可能性の必要条件と変分法データ同化 (第3報)

大会第4日 [5月24日(土)] 9:30~11:30 一般口頭発表**C 会場****降水システムII**

座長 : 久保田 拓志 (JAXA/EORC)

- C401 沖 理子 (JAXA/EORC) 全球降水観測計画 (GPM) の概要と初期結果
- C402 久保田 拓志 (JAXA/EORC) 全球降水観測計画 (GPM) 二周波降水レーダ (DPR) の初期検証結果
- C403 重 尚一 (京大院理) TRMM PR によって観測されたアジアモンスーン域における背の低い地形性豪雨
- C404 小司 禎教 (気象研) 複数測位衛星の視線遅延量を利用した観測点周囲の PWV 分布解析
- C405 河田 雅生 (九大院理) 下層水平風の鉛直シア変化に対するスコールラインの応答(2)
- C406 馬場 雄也 (JAMSTEC) 急峻な微細地形への対流の応答実験
- C407 堀之内 武 (北大院地球環境) 夏季の東アジア・北西太平洋域の総観規模変動, 水蒸気輸送, 降水への上部対流圏の渦位擾乱の影響
- C408 岡田 靖子 (京大防災研) 温暖化実験データを用いた梅雨期大気場の解析

大会第4日〔5月24日(土)〕 9:30~11:30 一般口頭発表

D 会場

大気境界層

座長：仲吉 信人（東工大院理工）

- D401 松尾 諒 (京大人環) 街と森における気温と水蒸気量の違いについて—春夏と冬の観測結果の比較—
- D402 平野 竜貴 (防衛大地球海洋) 東京都心における二酸化炭素フラックス観測
- D403 八木 綾子 (東工大院理工) ドップラーライダーで観測された大気境界層における流れ場の分類
- D404 仲吉 信人 (東工大院理工) 気象解析のための全日本都市幾何データベースの構築と世界への拡張可能性
- D405 稲垣 厚至 (東工大) TIVによる塵旋風の水平二次元速度分布計測
- D406 菊本 雄紀 (名大院環境) 夏季の濃尾平野における高温の発生要因に関する気候学的研究
- D407 西澤 誠也 (理研計算科学) LESにおける格子アスペクト比に対する境界層乱流の依存性
- D408 北村 祐二 (気象研) 混合距離の非等方性を考慮した大気境界層乱流モデルの構築

大会第4日〔5月24日(土)〕 13:30～17:00 一般口頭発表

B 会場

竜巻

座長：楠 研一（気象研）

- B451 山内 洋（気象研） つくば竜巻に伴う渦と飛散物の時間・高度変化
- B452 益子 渉（気象研） 2012年5月6日につくば市に被害をもたらしたスーパーセル竜巻の発生機構（第2報）
- B453 荒木 健太郎（気象研） つくば竜巻をもたらしたスーパーセル近傍環境場の高頻度観測・解析
- B454 佐々 浩司（高知大理） 越谷竜巻をもたらした親雲の映像による解析
- B455 佐藤 英一（気象研） 竜巻の親雲の構造解析—越谷・野田竜巻のケース—
- B456 加藤 輝之（気象研） 平成25年9月2日越谷・野田竜巻の発生要因
- B457 加藤 亮平（気象研） 多点型地上観測システムでとらえた下層渦 —地上付近の水平構造—

座長：佐藤 英一（気象研）

- B458 新井 健一郎（気象研） 進行方向に沿って並んだ時計回り／反時計回り回転の下層渦のドップラーレーダー観測
- B459 西橋 政秀（気象研） 冬季雷と突風渦を伴う線状降水帯の高頻度高層ゾンデ観測
- B460 本田 匠（九大院理） 2013年9月に関東地方で発生した竜巻事例の解析
- B461 小林 哲也（名大地球水循環） 三重県いなべ市で竜巻をもたらしたマイソサイクロンの形成過程
- B462 末木 健太（東大大気海洋研） 竜巻を発生させる台風の構造的特徴
- B463 廣川 康隆（仙台管区気象台） 2013年12月19-20日に日本海で発生・発達したメソ渦
- B464 杉本 聡一郎（電中研） 突風関連指数を用いた大きな竜巻の発生環境場の地域性に関する検討

大会第4日〔5月24日(土)〕 13:30~17:00 専門分科会

C 会場

「都市における気候変動適応研究の最先端」

座長：大楽 浩司（防災科研）

- C451 大西 領 (JAMSTEC) 都市・臨海・港湾域の統合グリーンイノベーション
- C452 大楽 浩司 (防災科研) 高解像度気候変動シナリオを用いた大都市圏の風水害脆弱性評価に基づく適応に関する研究
- C453 杉本 志織 (北大院地球環境) 北海道の土地利用改変に伴う都市域の気温変化
- C454 高根 雄也 (産総研) 岐阜県多治見市周辺における異常高温の気候学的特徴

座長：近藤 裕昭（産総研）

- C455 菅原 広史 (防大) 不均質な都市キャノピーにおけるゼロ面変位の推定方法
- C456 仲吉 信人 (東工大院理工) 人体装着型計測システムによる屋外暑熱環境実験
- C457 池田 亮作 (筑波大計算科学) 街区・建物周辺微気象モデルの開発
- C458 陳 桂興 (東北大院理) 3D structures of the sea-breeze front head as revealed by dual-Doppler lidar observation and building-resolving CFD modeling

休憩

座長：今須 良一（東大大気海洋研），中島 映至（東大大気海洋研）

- C459 中島 映至 (東大 AORI) 大気環境物質のためのシームレス同化システム構築とその応用
- C460 今須 良一 (東大大気海洋研) 領域輸送モデルを用いた関東域からの二酸化炭素排出量のインバージョン解析
- C461 五藤 大輔 (環境研) 都市における大気汚染物質シミュレーションとその健康影響評価

総合討論

大会第4日 [5月24日(土)] 13:30~17:00 一般口頭発表**D 会場****大気力学**

座長 : 相木 秀則 (JAMSTEC)

- D451 檜村 博基 (宇宙研) 簡易金星版 AFES 高解像度計算のエネルギースペクトル
- D452 今村 剛 (宇宙研) 金星雲層における日射による対流の抑制
- D453 板野 稔久 (防衛大地球海洋) 3つの階段状渦度域で構成される軸対称渦の特異値解析(ノルムに対する依存性)
- D454 舛田 あゆみ (横浜国大) 回転水槽実験で観測される波動挙動の定量化
- D455 山田 佳緒 (東大大気海洋研) 渦間相互作用による渦の移動の機構とその評価
- D456 岩山 隆寛 (神大・理) 地衡流乱流における大規模スケールの普遍性と不変量
- D457 相木 秀則 (JAMSTEC) 慣性重力波によるエネルギーフラックスの位相独立表現
- D458 増田 慧 (京大院理) 定常山岳波解の高精度計算法について
- D459 石岡 圭一 (京大院理) 順圧不安定からの擾乱発達に対する2つの上限値の同一性の証明

大会第1日〔5月21日(水)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P101 清水 宏幸 (九大院理) 日本海寒帯気団収束帯(JPCZ)近傍の総観規模・メソ低気圧活動
- P102 吉田 聡 (地球シミュレータ) 局所発達率を用いた低気圧活動解析
- P103 石毛 貴也 (名大院環境) レナ川流域に着目した環北極域における大気水循環の経年変動
- P104 北本 萌子 (気象大) JRA-55 における全球水循環の強化と海面塩分変化との整合性
- P105 山内 晃 (長大院水産環境) CloudSat 衛星プロダクトを用いた黒潮上の雲特性の解析 ～東シナ海領域について～
- P106 升永 竜介 (東大先端研) 黒潮・親潮続流域における複数の水温前線が冬季の大気境界層に及ぼす影響
- P107 神代 剛 (気象研) 雲タイプ毎にみた夏季北半球中緯度海洋上での下層雲量の経年変動
- P108 浅野 匠彦 (東大院理) 黒潮暖水域の下層雲への影響: SST 平滑化感度実験における雲水量の変化
- P109 山本 勝 (九大応力研) 2013 年夏の対馬海峡の暖水域が降水に与える影響
- P110 佐藤 笑 (弘前大院理工) 青森県六ヶ所村で観測されたヤマセの鉛直構造
- P111 田口 文明 (地球シミュレータ) 北太平洋亜寒帯前線の南北変位に対する大気と海洋の応答: 大気海洋結合モデル CFES を用いた実験
- P112 岡島 悟 (東大先端研) 暖候期に北太平洋中緯度の水温偏差が大規模大気循環に与え得る影響のメカニズムとその季節性
- P113 高橋 暢宏 (NICT) TRMM/PR による降水の長期的な特徴について
- P114 野口 峻佑 (京大院理) 気象庁1ヶ月アンサンブル予報を用いた冬季成層圏北極点温度の予測可能性に関する解析
- P115 大島 和裕 (JAMSTEC/RIGC) 年代によって異なる東西シベリア水循環の関係
- P116 大垣内 るみ (JAMSTEC) MIROC-ESM をもちいた最終氷期最大期の気候再現性とダスト分布
- P117 原田 やよい (気象庁気候情報課) 質量重み付き等温位面上帯状平均法を用いた JRA-55 における大気の流れの整合性の評価報告
- P118 鈴木 はるか (三重大院生物資源) 近年の北極振動の増幅と変調
- P119 菅野 湧貴 (東北大院理) 帯状平均に基づく 2BOX の寒気質量収支モデル～しきい値依存性について～
- P120 上杉 康貴 (気象大) JRA55 と CMIP5 温暖化実験にみる低緯度エネルギー輸送と Hadley 循環強度の関係
- P121 小林 ちあき (気象研) JRA-55 で表現された平均子午面循環の特徴(3)
- P122 原田 やよい (気象庁気候情報課) JRA-55 の熱帯における赤道波の再現性評価報告
- P123 遠藤 伸彦 (JAMSTEC/RIGC) 20 世紀におけるベトナム中部の秋季降水特性変動
- P124 高橋 洋 (首都大・JAMSTEC) 東南アジアモンスーン域の降水の年々変動における熱帯擾乱活動の役割
- P125 浜田 純一 (首都大都市環境) 海大陸域の降水経年変動に及ぼすモンスーンの影響
- P126 平田 英隆 (九大院・理) アジアモンスーン循環に変調をもたらす熱帯低気圧の遠隔強制
- P127 井上 豊志郎 (東大大気海洋研) TRMM で観測された熱帯での降水の半日変化
- P128 市川 悠衣子 (北大院理) 気象庁1か月予報におけるマッデンジュリアン振動の予測可能性

大会第1日〔5月21日(水)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P129 沢田 雅洋 (東大大気海洋研) 全球非静力学モデルを用いた 2012 年の台風発生の予測可能性について
- P130 斎藤 龍生 (東京海上研究所) CMIP5 マルチモデルと確率台風モデルを組合わせた将来台風予測
- P131 関 隆則 (気象予報士会) 生徒の能動的参加を重視した気象実験事例「使い捨てカイロを用いた空気の保温実験」
- P132 釜江 陽一 (環境研) 北半球陸上における 20 世紀後半以降の猛暑頻度の継続的な増加の要因
- P133 宮崎 真 (極地研) モンゴル北部カラマツ林における陸面過程モデルによる気象生態過程の再現性
- P134 仲江川 敏之 (気象研) タンクモデルで算定された貯水量の年平均値の長期変動
- P135 早崎 将光 (筑波大生命環境) 東アジア冬季モンスーン活動および低気圧活動の将来変化
- P136 野坂 真也 (気象研) 地域気候モデルの風に対するバイアス補正について
- P137 長谷川 聡 (PWRI) 年々変動を改善した日降水量の統計的ダウンスケーリング手法
- P138 陳 桂興 (東北大院理) Evaluation of the warm-season diurnal variability over East Asia in recent reanalyses JRA-55, ERA-interim, NCEP CFSR, and NASA MERRA
- P139 永野 良紀 (日大文理) 上層パターン分類からみたオホーツク海高気圧の特性
- P140 一柳 錦平 (熊大院自然) 秋田における降水同位体比の変動要因について
- P141 田中 博春 (長野県環境保全研) 長野県における年平均気温の変化予測
- P142 鈴木パーカー 明日香 (生命環境系) 複数の将来都市シナリオと RCM を用いた都市気候ダウンスケール実験 ―日本の首都圏を対象として―
- P143 稲垣 厚至 (東工大) 街区風に及ぼす植生の影響に関する LES 解析

大会第2日〔5月22日(木)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P201 伊藤 昭彦 (環境研) 全球1時間ステップでの陸域 CO₂ フラックス推定の試み
- P202 高島 久洋 (福岡大理) 北半球冬季熱帯東部太平洋における水平 3000 km 規模の巻雲
- P203 田上 雅浩 (熊大院・自然) 降水の安定同位体比を用いた冬季日本列島における水蒸気起源の推定
- P204 宮川 真友 (奈良女子大理) 地上観測から得られた南極昭和基地における雲の特徴
- P205 丹羽 洋介 (気象研) 4次元変分法を用いた CO₂ 発生・吸収源推定
- P206 清水 厚 (環境研) PM2.5 高濃度イベントに対する黄砂・球形粒子の影響推定
- P207 廣瀬 雄揮 (名大院環境) スギ花粉の沈降速度
- P208 中原 勇希 (東京理科大院理) 富士山周辺におけるエアロゾルの光学特性
- P209 舟田 亮子 (奈良女子大理) 船舶太陽放射観測から得られた海上エアロゾルの特徴
- P210 山下 克也 (防災科研・雪氷) 2010年6月に観測された高知のバックグラウンドエアロゾルと CCN の物理特性
- P211 庭野 匡思 (気象研) 気象庁非静力学モデル JMA-NHM と積雪変質モデル SMAP の結合に向けて
- P212 中村 一樹 (防災科研雪氷) 低気圧に伴う降雪による積雪内の表層雪崩弱層の形成
- P213 工藤 玲 (気象研) エアロゾルの長期変動が大気境界層へ与える影響
- P214 荒川 隆 (JAMSTEC) MIROC ESM における大気モデルと化学・エアロゾルモデルの結合(第一報)
- P215 近藤 歩 (海洋大学・院) 衛星観測データを用いた雲量の導出とエアロゾルとの相互作用の評価
- P216 深堀 正志 (気象大) 太陽放射スペクトルにみられる水蒸気吸収帯の観測
- P217 居島 修 (高層気象台) 分光型全天日射計を用いた太陽光スペクトルの直達成分と散乱成分の試験観測
- P218 渡邊 武志 (東海大 TRIC) 地上観測日射量データを用いた日射量変動の解析
- P219 亀高 遼平 (海洋大学・院) 非球形粒子の形状差が放射フラックスに与える影響の評価
- P220 山田 恭平 (東北大院理) 海上における地表面下向き放射観測の精度
- P221 澤田 淳也 (防衛大地球海洋) MTSAT-2/Split-Window を用いた新燃岳噴火に伴う火山灰拡散の解析
- P222 野原 大輔 (電中研) 竜巻移動経路を考慮した竜巻遭遇確率の推定
- P223 熊澤 里枝 (横浜国大) 傘の色の違いによる日傘効果の評価
- P224 桐山 悠祐 (東京理科大院理) 人為的 NO_x、VOC 排出量の減少がオゾン濃度に与える効果
- P225 佐藤 香枝 (明星電気) 地上稠密観測 POTEKA で観測した 2013 年 8 月 11 日のダウンバースト(1)
- P226 野呂瀬 敬子 (防衛大地球海洋) 地上稠密観測 POTEKA で観測した 2013 年 8 月 11 日のダウンバースト(2)
- P227 岡田 牧 (筑波大院 生命環境) ポリエチレンチャンバーによる放射-対流熱交換に及ぼす LAI 増加影響の評価
- P228 瀬古 弘 (気象研) GNSS データによる水蒸気量場推定
- P229 後藤 忠広 (NICT) 周波数の有効利用を目的とした協調制御型気象レーダシステムの検討 その5 レーダ同期技術の実証実験

大会第2日〔5月22日(木)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P230 花土 弘 (NICT) 周波数の有効利用を目的とした協調制御型気象レーダシステムの検討その6 パイスタティック受信観測に関する検討
- P231 菊池 博史 (阪大院工) 周波数の有効利用を目的とした協調制御型気象レーダシステムの検討 その7 2次元アレイアンテナにおける偏波パラメータ観測精度
- P232 箕輪 昌裕 (古野電気) 小型 X-band 気象レーダーによる都市域の局地的豪雨の観測
- P233 堀江 宏昭 (NICT) EarthCARE/CPR 検証用高感度レーダの初期観測結果
- P234 古澤 文江 (名大地球水循環) 陸域降水リトリバルのための EOF 解析を用いた高周波マイクロ波射出率の長期データ
- P235 谷中 郁哉 (茨城大理) リモートセンシングによる下部対流圏オゾン量導出のための航空機による検証観測
- P236 関 隆則 (気象予報士会) 千葉県船橋市における結氷量の順位分布とその特徴
- P237 酒巻 洋 (三菱電機) 浮体式ドップラーライダーにおける動揺補正アルゴリズム
- P238 石田 春磨 (山口大院理工) CALIPSO データを用いた MTSAT-2 霧検出結果の検証
- P239 小西 啓之 (大阪教育大) 氷晶自動観察装置の作成と大型保冷箱を用いた氷晶発生実験
- P240 平沢 尚彦 (極地研) SPICE サイト・陸別における降雪量観測
- P241 永瀬 司 (WICS) 転倒まず型雨量計の比較観測
- P242 稲飯 洋一 (京大生存研) ラジオゾンデ気圧バイアスに起因する高度計算誤差のオゾン・気温プロファイルへの影響
- P243 劉 哲換 (名大地球水循環) Assessment of wind fields simulated by CReSS for offshore wind energy generation
- P244 平田 英隆 (九大院・理) CReSS-NHOES を用いた爆弾低気圧と中緯度海洋との相互作用の解析

大会第3日〔5月23日(金)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P301 高橋 忠司 (埼玉大) 畸形雪結晶の成因について
- P302 斎藤 篤思 (気象研) 氷晶核活性化特性の季節変化
- P303 Chen Ying-Wen (JAMSTEC) 全球雲解像非静力学モデルにおける雲微物理スキームの変更による雲フィードバックの変化
- P304 橋本 明弘 (気象研) 航空機・地上観測データに基づく雲物理モデルの改良: その2
- P305 宗近 夏美 (山口大農) ビデオゾンデの多地点連続放球がとらえた層状性雲内の鉛直構造
- P306 前島 康光 (気象研) 小河内ダム集水域におけるシーディングシミュレーション(その2)
- P307 吉住 蓉子 (九大院理) 冬季南岸低気圧の発達初期段階における雲システムの微物理的・電氣的構造
- P308 盧 孟燮 (東大気海洋研) Evaluation of precipitating hydrometeor parameterizations in a single-moment bulk microphysics scheme for deep convective systems over the tropical central Pacific
- P309 山田 芳則 (気象研) 2013年3月2~3日の北海道東部での暴風雪に関する数値実験
- P310 渡邊 俊一 (東大気海洋研) 冬季日本海上で発生する渦状擾乱の解析: I. 渦と経路の客観的抽出手法の開発
- P311 大東 忠保 (名大地球水循環) 梅雨期に発生したクラウドクラスターに関する雲解像モデル CReSS と観測との雲物理量の比較
- P312 津口 裕茂 (気象研) 近年の顕著な集中豪雨事例の再解析 ~事例解析と統計解析によるアプローチ~
- P313 足立 幸穂 (JAMSTEC/RIGC) 神戸市と周辺地域の降水イベントを対象とした高解像度再現実験
- P314 鈴木 悠也 (福島大院理工) 2013年8月5日に発生した短時間豪雨の解析
- P315 柏柳 太郎 (日本無線) 雲レーダーによる積乱雲発生初期のドップラ観測
- P316 佐々 浩司 (高知大理) 高密度地上観測による2013年9月2日の越谷竜巻の発生環境について
- P317 栃本 英伍 (東大気海洋研) 竜巻大発生を伴う温帯低気圧構造と環境場 (2)
- P318 岡本 幸三 (気象研) 衛星搭載風ライダーの観測システムシミュレーション実験 (OSSE) その2
- P319 浅野 準一 (気象大) ひまわり6号による高頻度観測データを利用した積雲急発達域検出の改良
- P320 足立 透 (早大高等研) 衛星光学観測に基づく雷放電特性の導出
- P321 吉田 智 (気象研) 広帯域雷放電三次元可視化装置の開発とその精度検証
- P322 勝部 弘太郎 (北大院理) 海面水温を変えた熱帯低気圧の温帯低気圧化の数値実験
- P323 青野 憲史 (東北大院理) 雲解像モデルによる乱流熱フラックスの風速依存性の台風発達への影響に関する研究
- P324 山田 洋平 (JAMSTEC/RIGC) 全球非静力学モデルを用いた AMIP 型実験 (15年) の熱帯低気圧温暖化変化について
- P325 牛田 祐貴 (名大地球水循環) 雲粒子ゾンデ HYVIS による熱帯の降水雲内の氷晶の鉛直分布の特徴
- P326 北畠 尚子 (気象研) TRMM/TMI 輝度温度データで分類した台風の構造
- P327 小山 亮 (気象研) 衛星データを用いて解析された T1324 の発達期の構造変化
- P328 和田 章義 (気象研) NHM-LETKF を用いた台風 0813 号(Sinlaku)の予測可能性

大会第3日〔5月23日(金)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P329 中山 翼 (北大院理) ガーナにおける気象情報の空間詳細化
- P330 中村 祐輔 (立正大地球環境) 熊谷市における夏季・冬季のヒートアイランド強度
- P331 河野 なつ美 (東工大院理工) 擬似温暖化を利用した名古屋都市圏の将来気候変化
- P332 三井 智章 (東工大院理工) WRF-CHEM を用いた東京湾海風挙動のシミュレーション
- P333 田中 博春 (長野県環境保全研) 樹林内の広場における林縁近傍の積雪深空間分布
- P334 岩井 宏徳 (NICT) ドップラーライダーにより観測された六甲おろしの構造
- P335 佐々木 華織 (中央農研) 山形県庄内地方に発生する局地風清川ダシの強風域分布の特徴
- P336 中井 専人 (防災科研雪氷) 冬季山頂一露場気温観測の比較
- P337 堀口 光章 (京大防災研) 不安定時の大気境界層における乱流構造一都市近郊における観測より一
- P338 吉田 祐麻 (東工大院理工) 実都市幾何における三次元熱放射過程を考慮した LES 数値解析
- P339 吉田 龍二 (理研計算科学) 傾圧波実験における鉛直格子間隔の影響評価
- P340 大泉 伝 (JAMSTEC) スーパーコンピュータ「京」に適応した超高解像度実験用NHMの開発
- P341 宮本 佳明 (理研計算機構) 離散系における線形安定性解析
- P342 小田 真祐子 (気象研) Counter-propagating ロスビー波・重力波相互作用 Pro-propagating 重力波の役割
- P343 杉山 耕一朗 (宇宙研) 金星雲層を想定した鉛直対流の数値計算
- P344 安藤 紘基 (JAXA) 雲解像モデルを用いた金星重力波の2次元数値実験
- P345 小高 正嗣 (北大理) 惑星大気大循環モデル DCPAM を用いた MELOS1 探査機のための火星表層環境評価
- P346 今村 剛 (宇宙研) 火星における対流励起重力波と熱圏への影響

大会第4日〔5月24日(土)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P401 久富 悠生(首都大都市環境) 武蔵野台地における浅層地下水流動の将来予測に関する研究—4つのGCMの出力とMODFLOWを用いて—
- P402 長田 和雄(名大院環境) 粗大粒子中の硝酸塩：ニトロン薄膜法を用いた個別定量法の検討
- P403 長田 和雄(名大院環境) 沖縄・辺戸岬で採取した乾性・湿性沈着物中の球状炭化粒子
- P404 村山 昌平(産総研) スパールバル諸島ニールスン基地における大気中二酸化炭素、メタン、一酸化炭素濃度の連続観測
- P405 中井 専人(防災科研雪氷) 2冬季の降雪粒子観測とレーダーZe-R
- P406 渡辺 彩水(東京理科大院理) 都市大気と山岳大気での雲凝結核特性
- P407 田村 夏美(京大院理) TRMM PR データを用いたブライトバンド強度の解析
- P408 山田 芳則(気象研) 異なるバルク微物理モデルの違いによる東京及びその周辺の降雪予測の比較
- P409 島田 正樹(防衛大地球海洋) 人工降雨による豪雨(豪雪)軽減実験
- P410 越田 智喜(いであ) 強度の小さい降水に対するレーダ雨量観測精度向上の検討
- P411 古田 尚悟(山口大農) 発達初期段階にある南岸低気圧に伴う雲内の微物理構造
- P412 下條 正人(首都大都市環境) 関東地方南部に大雪をもたらした2013年1月14日の降雪に関する研究—積雪分布の特徴に着目して—
- P413 稲津 将(北大院理) 北海道における豪雨・雪の再現性対す多段ネスト効果
- P414 的場 徹(九大院理) 春季先島諸島周辺におけるニンジン状雲の発生メカニズム
- P415 若月 泰孝(筑波大院生命環境) 梅雨前線構造と降水の統計解析
- P416 濱田 篤(東大大気海洋研) 極端な降雨と極端な対流を伴う降水システムの季節特性
- P417 田中 大輔(首都大都市環境) スネーク曲線を用いた平成24年九州北部豪雨ほかの解析—50年確率値を用いて—
- P418 橋北 太樹(千葉工業大工) 屋外カメラのステレオ観測に基づく首都圏に発達する積乱雲の位置・高度推定
- P419 横田 祥(気象研) 2012年5月6日につくば市に被害をもたらした竜巻に関するアンサンブル実験による相関解析
- P420 村松 貴有(網走地方気象台) 日本における竜巻発生時の大気環境場とレーダーエコー指数の地域変化・季節変化
- P421 瀬戸 心太(長大院工) GPM 主衛星搭載 KaPR レーダによる降水強度推定
- P422 大井川 正憲(京大生存研) LETKFの双方向ネストシステムを用いたGNSS稠密観測で観測した水蒸気データの同化実験
- P423 林 修吾(気象研) 積乱雲内の雷放電点の三次元分布と偏波パラメータの特徴
- P424 諸田 雪江(ウェザー・サービス) 雷モデルを用いた雷シミュレーションにおける中和過程の検討
- P425 高倉 寿成(九大院理) 秋雨期(9月)の台風による水蒸気の長距離輸送とその水蒸気起源
- P426 嶋田 宇大(気象研) ドップラーレーダーで5分毎に捉えたT1215の内部構造
- P427 大脇 良夫(名大地球水循環) 2013年6月15日にパラオ共和国で雲粒子ゾンデ(HYVIS)により観測された降水システム内の過冷却水滴と固体凝結物の分布
- P428 金子 峻也(筑波大地球学類) チベット高原とその周辺域におけるメソ対流系の活動分布

大会第4日〔5月24日(土)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P429 西本 絵梨子 (京大院理) CMIP5・再解析データセットにおける熱帯対流圏界面温度構造の再現性
- P430 吉岡 大秋 (横浜国大) PALAU2013 で観測された台風4号発生時の環境場について
- P431 酒井 貴紘 (名大地球水循環) PALAU2013 観測期間中に発生した台風6号(RUMBIA)の発生環境場の特徴
- P432 小田 真祐子 (気象研) 台風進路予報の精度向上のための全球モデル用のアンサンブルに基づく変分法同化法の開発(その1)
- P433 藤森 祥文 (愛媛大院理工) レーダー・アメダス解析雨量を用いた松山平野の降水特性
- P434 田中 実 (無所属) 近年の日最高気温の高い記録と夏の天候との関係
- P435 寝占 祐太 (東工大院理工) 東京における夏季東京湾海風の進入の年代変化
- P436 中島 虹 (首都大院都市環境) 関東平野南部の大気汚染物質濃度分布に与える海風の影響
- P437 比良 咲絵 (気象大) 夜間下層ジェットの解析解
- P438 今井 優真 (筑波大地球学類) 新潟県で発生する局地風“安田だし”の気候学的研究
- P439 高野 哲夫 (SnowCast) 山形県内における冬季の季節風と夜間の気温分布の関係
- P440 水戸 俊成 (首都大院都市環境) 風力発電所の立地による風況の違いと発電量の傾向 ~日本における海岸・丘陵・山岳に立地する6ヶ所の風力発電所の実測データを用いて~
- P441 伊藤 純至 (東大大気海洋研) Terra Incognita スケール境界層モデルの開発: 圧力相関項のモデル化
- P442 五十嵐 健祐 (東北大院理) LESを用いた大気境界層の熱対流に関する数値実験
- P443 若月 泰孝 (筑波大院生命環境) 浅水モデルを用いた変分法データ同化における非線形効果の調査
- P444 西川 雄輝 (東大大気海洋研) 直交座標系における地形表現スキームの比較実験
- P445 伊藤 享洋 (気象庁数値予報) 鉛直シアをもつ東西流中の渦 Rossby 波の解析解
- P446 杉山 耕一朗 (宇宙研) 巨大惑星を想定した雲対流の2次元数値計算

講演者索引

< A >

Adachi Ahoro (足立 アホロ) B208
 Adachi Sachiko (足立 幸穂) P313
 Adachi Toru (足立 透) P320
 Aiki Hidenori (相木 秀則) D457
 Aizawa Takuro (相澤 拓郎) C153
 Ando Hiroki (安藤 紘基) P344
 Ando Yuta (安藤 雄太) A161
 Aoki Teruo (青木 輝夫) B301
 Aonashi Kazumasa (青梨 和正) A307
 Aonashi Kazumasa (青梨 和正) B207
 Aono Kenji (青野 憲史) P323
 Arai Kenichiro (新井 健一郎) B458
 Arakawa Takashi (荒川 隆) P214
 Araki Kentaro (荒木 健太郎) B453
 Aruhan (阿如漢) D154
 Asano Jun'ichi (浅野 準一) P319
 Asano Naruhiko (浅野 匠彦) P108

< B >

Baba Yuya (馬場 雄也) C406

< C >

Chen Guixing (陳 桂興) C458
 Chen Guixing (陳 桂興) P138
 Chen Ying-wen (Chen Ying-Wen) P303

< D >

Dairaku Koji (大楽 浩司) C452

< E >

Eguchi Nawo (江口 菜穂) A156
 Endo Hirokazu (遠藤 洋和) A167
 Endo Nobuhiko (遠藤 伸彦) P123

< F >

Fujibe Fumiaki (藤部 文昭) D153
 Fujimori Yoshifumi (藤森 祥文) P433
 Fujinami Hatsuki (藤波 初木) A152
 Fukabori Masashi (深堀 正志) P216
 Fukutomi Yoshiki (福富 慶樹) A158
 Funada Ryoko (舟田 亮子) P209
 Furuta Shogo (古田 尚悟) P411
 Furuzawa Fumie (古澤 文江) B206
 Furuzawa Fumie (古澤 文江) P234

< G >

Goto Daisuke (五藤 大輔) C461
 Gotoh Tadahiro (後藤 忠広) P229

< H >

Haga Yuichi (堺和 優一) B105

Hamada Atsushi (濱田 篤) P416
 Hamada Jun-ichi (浜田 純一) P125
 Hanado Hiroshi (花土 弘) P230
 Harada Yayoi (原田 やよい) P117
 Harada Yayoi (原田 やよい) P122
 Hasegawa Akira (長谷川 聡) P137
 Hashikita Daiki (橋本 太樹) P418
 Hashimoto Akihiro (橋本 明弘) P304
 Hayasaki Masamitsu (早崎 将光) P135
 Hayashi Michiya (林 未知也) A409
 Hayashi Syugo (林 修吾) P423
 Hira Sakie (比良 咲絵) P437
 Hirano Kohin (平野 洪賓) B157
 Hirano Tatsuki (平野 竜貴) D402
 Hirasawa Naohiko (平沢 尚彦) C206
 Hirasawa Naohiko (平沢 尚彦) P240
 Hirata Hidetaka (平田 英隆) P126
 Hirata Hidetaka (平田 英隆) P244
 Hirockawa Yasutaka (廣川 康隆) B463
 Hiroi Kei (廣井 慧) B164
 Hirose Yuuki (廣瀬 雄揮) P207
 Hisatomi Yusei (久富 悠生) P401
 Honda Takumi (本田 匠) B460
 Hori Masatake (堀 正岳) C156
 Horie Hiroaki (堀江 宏昭) P233
 Horiguchi Mitsuaki (堀口 光章) P337
 Horinouchi Takeshi (堀之内 武) C407
 Hoshi Kazuhira (星 一平) B106

< I >

Ichikawa Yuiko (市川 悠衣子) P128
 Ichiyanagi Kimpei (一柳 錦平) P140
 Igarashi Kensuke (五十嵐 健祐) P442
 Ijima Osamu (居島 修) P217
 Ikeda Ryosaku (池田 亮作) C457
 Imada Yukiko (今田 由紀子) A202
 Imai Yuma (今井 優真) P438
 Imamura Takeshi (今村 剛) D452
 Imamura Takeshi (今村 剛) P346
 Imasu Ryoichi (今須 良一) C460
 Inagaki Atsushi (稲垣 厚至) D405
 Inagaki Atsushi (稲垣 厚至) P143
 Inai Yoichi (稲飯 洋一) P242
 Inatsu Masaru (稲津 将) D101
 Inatsu Masaru (稲津 将) P413
 Inoue Jun (猪上 淳) C154
 Inoue Makoto (井上 誠) B308
 Inoue Tomoshige (井上 知榮) A164
 Inoue Toshiro (井上 豊志郎) P127
 Ishibashi Toshiyuki (石橋 俊之) B403
 Ishida Haruma (石田 春磨) P238
 Ishige Takaya (石毛 貴也) P103
 Ishihara Masahito (石原 正仁) B151
 Ishimoto Hiroshi (石元 裕史) D202

Ishioka Keiichi (石岡 圭一) D459
 Itahashi Syuichi (板橋 秀一) D102
 Ito Akihiko (伊藤 昭彦) P201
 Ito Junshi (伊藤 純至) P441
 Ito Kosuke (伊藤 耕介) B406
 Ito Takahiro (伊藤 享洋) P445
 Iwai Hironori (岩井 宏徳) P334
 Iwasaki Hiroyuki (岩崎 博之) C307
 Iwasaki Shinsuke (岩崎 慎介) A160
 Iwayama Takahiro (岩山 隆寛) D456

< K >

Kajikawa Yoshiyuki (梶川 義幸) A165
 Kamae Youichi (釜江 陽一) A166
 Kamae Youichi (釜江 陽一) P132
 Kamahori Hirotsuka (釜堀 弘隆) B101
 Kametaka Ryohei (亀高 遼平) P219
 Kamimera Hideyuki (上米良 秀行) B209
 Kanada Sachie (金田 幸恵) A306
 Kaneko Takaya (金子 峻也) P428
 Kanemaru Kaya (金丸 佳矢) A408
 Kanno Yuki (菅野 湧貴) A162
 Kanno Yuki (菅野 湧貴) P119
 Kashimura Hiroki (榎村 博基) D451
 Kashiwayanagi Taro (柏柳 太郎) P315
 Kato Kuranoshin (加藤 内藏進) D305
 Kato Kuranoshin (加藤 内藏進) D306
 Kato Masaya (加藤 雅也) A404
 Kato Ryohei (加藤 亮平) B457
 Kato Teruyuki (加藤 輝之) A102
 Kato Teruyuki (加藤 輝之) B456
 Katsube Koutarou (勝部 弘太郎) P322
 Kawada Masaki (河田 雅生) C405
 Kawai Hideaki (川合 秀明) A205
 Kawai Kei (河合 慶) B304
 Kawamura Seiji (川村 誠治) B202
 Kawano Natsumi (河野 なつ美) P331
 Kawano Tetsuya (川野 哲也) A103
 Kikuchi Hiroshi (菊池 博史) P231
 Kikumoto Yuki (菊本 雄紀) D406
 Kinoshita Takenari (木下 武也) C105
 Kiriya Yusuke (桐山 悠祐) P224
 Kitabatake Naoko (北畠 尚子) A305
 Kitabatake Naoko (北畠 尚子) P326
 Kitamoto Moeke (北本 萌子) P104
 Kitamura Yuji (北村 祐二) D408
 Kobayashi Chiaki (小林 ちあき) P121
 Kobayashi Fumiaki (小林 文明) B155
 Kobayashi Tetsuya (小林 哲也) B461
 Kodera Kunihiko (小寺 邦彦) A155
 Koike Katsuyuki (小池 克征) C302
 Kondo Ayumu (近藤 歩) P215
 Konishi Hiroyuki (小西 啓之) P239
 Koshida Tomoki (越田 智喜) P410

- Koshiro Tsuyoshi (神代 剛) A204
 Koshiro Tsuyoshi (神代 剛) P107
 Kuba Naomi (久芳 奈遠美) C303
 Kubota Takuji (久保田 拓志) C402
 Kuchiki Katsuyuki (朽木 勝幸) D105
 Kudo Rei (工藤 玲) P213
 Kujsunoki Shoji (楠 昌司) A207
 Kumazawa Rie (熊澤 里枝) P223
 Kunii Masaru (国井 勝) B405
 Kusanagi Hiroshi (草薙 浩) D302
 Kusanagi Hiroshi (草薙 浩) D303
 Kuwano-yoshida Akira (吉田 聡) P102
- < M >
- Machimura Tasuku (町村 輔) C201
 Maejima Yasumitsu (前島 康光) P306
 Maki Taichi (真木 太一) C306
 Mashiko Wataru (益子 渉) B452
 Masuda Ayumi (舛田 あゆみ) D454
 Masuda Satoshi (増田 慧) D458
 Masunaga Ryusuke (升永 竜介) P106
 Matoba Toru (的場 徹) P414
 Matsueda Mio (松枝 未遠) B401
 Matsui Hitoshi (松井 仁志) B303
 Matsumoto Kengo (松本 健吾) D152
 Matsumoto Naoya (松本 直也) D151
 Matsumura Shinji (松村 伸治) A157
 Matsuo Ryo (松尾 諒) D401
 Michimoto Koichiro (道本 光一郎) B163
 Michimoto Koichiro (道本 光一郎) C308
 Minda Haruya (民田 晴也) B204
 Minobe Shoshiro (見延 庄士郎) C204
 Minowa Masahiro (箕輪 昌裕) P232
 Mito Toshinari (水戸 俊成) P440
 Mitoguchi Takayuki (三戸口 答之) D304
 Mitsui Taku (三井 拓) C158
 Mitsui Tomoaki (三井 智章) P332
 Miyagawa Mayu (宮川 真友) P204
 Miyahara Saburo (宮原 三郎) C102
 Miyamoto Yoshiaki (宮本 佳明) P341
 Miyazaki Shin (宮崎 真) P133
 Morioka Yushi (森岡 優志) C205
 Moroda Yukie (諸田 雪江) P424
 Moteki Nobuhiro (茂木 信宏) D104
 Motoyoshi Hiroki (本吉 弘岐) C304
 Munechika Natsumi (宗近 夏美) P305
 Muramatsu Takanari (村松 貴有) P420
 Murata Akihiko (村田 昭彦) D156
 Murayama Shohei (村山 昌平) P404
- < N >
- Nagano Yoshinori (永野 良紀) P139
 Nagasawa Chikao (長澤 親生) B309
 Nagase Tsukasa (永瀬 司) P241
 Nagumo Nobuhiro (南雲 信宏) B153
 Nakaegawa Tosiya (仲江川 敏之) P134
 Nakahara Yuki (中原 勇希) P208
 Nakai Sento (中井 專人) P336
 Nakai Sento (中井 專人) P405
 Nakajima Ko (中島 虹) P436
 Nakajima Teruyuki (中島 映至) C459
 Nakamura Kazuki (中村 一樹) P212
 Nakamura Yusuke (中村 祐輔) P330
 Nakano Masuo (中野 満寿男) A302
 Nakata Koji (中田 晃志) A304
 Nakatani Tsuyoshi (中谷 剛) B159
 Nakayama Tsubasa (中山 翼) P329
 Nakayoshi Makoto (仲吉 信人) C456
 Nakayoshi Makoto (仲吉 信人) D404
 Nakazawa Tetsuo (中澤 哲夫) A151
 Nejime Yuta (寝占 祐太) P435
 Ninomiya Kozo (二宮 洸三) A168
 Nishihashi Masahide (西橋 政秀) B459
 Nishii Kazuaki (西井 和晃) B103
 Nishikawa Masanori (西川 将典) B205
 Nishikawa Yuki (西川 雄輝) P444
 Nishimoto Eriko (西本 絵梨子) P429
 Nishizawa Seiya (西澤 誠也) D407
 Niwa Yosuke (丹羽 洋介) P205
 Niwano Masashi (庭野 匡思) P211
 Noguchi Shunsuke (野口 峻佑) P114
 Nohara Daisuke (野原 大輔) P222
 Norose Keiko (野呂瀬 敬子) P226
 Nosaka Masaya (野坂 真也) P136
- < O >
- Obata Atsushi (小畑 淳) D158
 Oda Mayuko (小田 真祐子) P342
 Oda Mayuko (小田 真祐子) P432
 Odaka Masatsugu (小高 正嗣) P345
 Ogata Tomomichi (尾形 友道) A159
 Ogawa Shinichi (小川 晨一) C202
 Ogura Tomoo (小倉 知夫) A208
 Ohata Tsuyoshi (大羽田 剛史) C101
 Ohgaito Rumi (大垣内 るみ) P116
 Ohigashi Tadayasu (大東 忠保) P311
 Ohnishi Haruo (大西 晴夫) B161
 Ohtake Hideaki (大竹 秀明) D206
 Oigawa Masanori (大井川 正憲) P422
 Oikawa Eiji (及川 栄治) B302
 Oizumi Tsutao (大泉 伝) P340
 Okada Maki (岡田 牧) P227
 Okada Yasuko (岡田 靖子) C408
 Okajima Satoru (岡島 悟) P112
 Okamoto Hajime (岡本 創) D203
 Okamoto Kozo (岡本 幸三) P318
 Okata Megumi (大方 めぐみ) D201
 Oki Riko (沖 理子) C401
 Onishi Ryo (大西 領) C451
 Oouchi Kazuyoshi (大内 和良) A406
 Origuchi Seiji (折口 征二) B407
 Osada Kazuo (長田 和雄) P402
 Osada Kazuo (長田 和雄) P403
 Ose Tomoaki (尾瀬 智昭) B102
 Oshima Kazuhiro (大島 和裕) P115
 Otsuka Michiko (大塚 道子) B404
 Owaki Yoshio (大脇 良夫) P427
 Oyama Ryo (小山 亮) P327
- < R >
- Roh Woosub (盧 孟燮) P308
- < S >
- Saito Atsushi (齋藤 篤思) P302
 Saito Ryusei (齋藤 龍生) P130
 Sakai Takahiro (酒井 貴紘) P431
 Sakamaki Hiroshi (酒巻 洋) P237
 Sasaki Kaori (佐々木 華織) P335
 Sassa Koji (佐々 浩司) B454
 Sassa Koji (佐々 浩司) P316
 Sato Eiichi (佐藤 英一) B455
 Sato Emi (佐藤 笑) P110
 Sato Kae (佐藤 香枝) P225
 Sato Kazutoshi (佐藤 和敏) C155
 Sato Naoki (佐藤 尚毅) A153
 Sato Yousuke (佐藤 陽祐) C305
 Satoh Masaki (佐藤 正樹) A301
 Satoh Shinsuke (佐藤 晋介) B203
 Sawada Junnya (澤田 淳也) P221
 Sawada Masahiro (沢田 雅洋) P129
 Seguchi Takafumi (瀬口 貴文) D163
 Seino Naoko (清野 直子) B152
 Seki Takanori (関 隆則) P236
 Seki Takanori (関 隆則) P131
 Sekiguchi Miho (関口 美保) D204
 Sekiya Naoya (関谷 直也) B162
 Seko Hiromu (瀬古 弘) P228
 Seto Shinta (瀬戸 心太) P421
 Seto Yoshihito (瀬戸 芳一) B154
 Shakti P.C. (Shakti P.C.) B158
 Shige Shoichi (重 尚一) C403
 Shimada Masaki (島田 正樹) P409
 Shimada Udai (嶋田 宇大) P426
 Shimizu Atsushi (清水 厚) P206
 Shimizu Hiroyuki (清水 宏幸) P101
 Shimojo Masato (下條 正人) P412
 Shindo Eiki (新藤 永樹) A206
 Shinoda Taro (篠田 太郎) A405
 Shinoda Taro (篠田 太郎) C157
 Shiogama Hideo (塩竈 秀夫) A209
 Shiotani Masato (塩谷 雅人) C103
 Shoji Yoshinori (小司 慎教) C404
 Sucki Kenta (末木 健太) B462
 Sugawara Hirofumi (菅原 広史) C455
 Sugi Masato (杉 正人) D159
 Sugimoto Shiori (杉本 志織) C453
 Sugimoto Soichiro (杉本 聡一郎) B464
 Sugiyama Ko-ichiro (杉山 耕一郎) P343
 Sugiyama Ko-ichiro (杉山 耕一郎) P446
 Suzuki Haruka (鈴木 はるか) P118
 Suzuki Makoto (鈴木 睦) C104
 Suzuki Yuya (鈴木 悠也) P314
 Suzuki-parker Asuka (鈴木 パーカー 明日香) P142

< T >

- | | | | |
|----------------------------|------|----------------------------|------|
| Tachiiri Kaoru (立入 郁) | D161 | Yamada Kao (山田 佳緒) | D455 |
| Taguchi Bunmei (田口 文明) | P111 | Yamada Kyohei (山田 恭平) | P220 |
| Tajiri Takuya (田尻 拓也) | C301 | Yamada Yohei (山田 洋平) | P324 |
| Takahashi Chuji (高橋 忠司) | P301 | Yamada Yoshinori (山田 芳則) | P309 |
| Takahashi Hideo (高橋 日出男) | B156 | Yamada Yoshinori (山田 芳則) | P408 |
| Takahashi Hiroshi (高橋 洋) | P124 | Yamaguchi Munchiko (山口 宗彦) | B402 |
| Takahashi Nobuhiro (高橋 暢宏) | P113 | Yamamoto Akira (山本 哲) | B201 |
| Takakura Toshinari (高倉 寿成) | P425 | Yamamoto Akira (山本 哲) | D301 |
| Takane Yuya (高根 雄也) | C454 | Yamamoto Masaru (山本 勝) | C203 |
| Takano Tetsuo (高野 哲夫) | P439 | Yamamoto Masaru (山本 勝) | P109 |
| Takano Toshiaki (鷹野 敏明) | C151 | Yamasaki Masanori (山岬 正紀) | A308 |
| Takashima Hisahiro (高島 久洋) | P202 | Yamashita Katsuya (山下 克也) | P210 |
| Takemi Tetsuya (竹見 哲也) | A309 | Yamauchi Akira (山内 晃) | P105 |
| Takenaka Hideaki (竹中 栄晶) | D205 | Yamauchi Hiroshi (山内 洋) | B451 |
| Tamaki Yuta (玉置 雄大) | D155 | Yamazaki Akira (山崎 哲) | C159 |
| Tamura Natsumi (田村 夏美) | P407 | Yanaka Fumiya (谷中 郁哉) | P235 |
| Tanaka Daisuke (田中 大輔) | P417 | Yanase Wataru (柳瀬 亘) | A303 |
| Tanaka Hiroharu (田中 博春) | P141 | Yasunaga Kazuaki (安永 数明) | A154 |
| Tanaka Hiroharu (田中 博春) | P333 | Yokota Sho (横田 祥) | P419 |
| Tanaka Hiroshi L. (田中 博) | C152 | Yokoyama Chie (横山 千恵) | D160 |
| Tanaka Minoru (田中 実) | P434 | Yoshida Ryuji (吉田 龍二) | P339 |
| Tanaka Sho (田中 翔) | B104 | Yoshida Satoru (吉田 智) | P321 |
| Tanoue Masahiro (田上 雅浩) | P203 | Yoshida Sho (吉田 翔) | A106 |
| Tochimoto Eigo (栃本 英伍) | P317 | Yoshida Yuma (吉田 祐麻) | P338 |
| Toshihisa Itano (板野 稔久) | D453 | Yoshii Mamoru (吉井 護) | B160 |
| Tsuboki Kazuhisa (坪木 和久) | A401 | Yoshimura Kei (芳村 圭) | A163 |
| Tsuguti Hiroshige (津口 裕茂) | A101 | Yoshioka Hiroaki (吉岡 大秋) | P430 |
| Tsuguti Hiroshige (津口 裕茂) | P312 | Yoshizumi Youko (吉住 蓉子) | P307 |
| Tsujino Satoki (辻野 智紀) | A402 | You Cheol Hwan (劉 哲煥) | P243 |
| Tsuruta Haruo (鶴田 治雄) | B306 | | |
| Tsutsui Junichi (筒井 純一) | D162 | | |
| Tsuyuki Tadashi (露木 義) | B408 | | |

< U >

- | | |
|--------------------------|------|
| Uchino Osamu (内野 修) | B307 |
| Uchiyama Tsuneco (内山 常雄) | A201 |
| Uesugi Koki (上杉 康貴) | P120 |
| Unuma Takashi (鵜沼 昂) | A104 |
| Ushia Yuki (牛田 祐貴) | P325 |
| Ushiyama Tomoki (牛山 朋來) | D157 |

< W >

- | | |
|---------------------------|------|
| Wada Akiyoshi (和田 章義) | A403 |
| Wada Akiyoshi (和田 章義) | P328 |
| Wakazuki Yasutaka (若月 泰孝) | P415 |
| Wakazuki Yasutaka (若月 泰孝) | P443 |
| Wang Minrui (王 敏叡) | D103 |
| Watanabe Akira (渡邊 明) | B305 |
| Watanabe Ayami (渡辺 彩水) | P406 |
| Watanabe Shunichi (渡邊 俊一) | P310 |
| Watanabe Takeshi (渡邊 武志) | P218 |
| Wu Peiming (伍 培明) | A407 |

< Y >

- | | |
|-------------------------|------|
| Yagai Isamu (谷貝 勇) | A203 |
| Yagi Ayako (八木 綾子) | D403 |
| Yamada Hiroyuki (山田 広幸) | A105 |